

フッ化物洗口普及モデル事業実施後アンケート調査

1 調査の目的

本市では、フッ化物洗口の全小学校への普及拡大と安全かつ効率的な実施方法の確立に向け、平成24年度から3年間、フッ化物洗口普及モデル事業を実施している。

今年度はモデル事業の最終年度であることから、事業を検証し、小学校での本格実施に向けた実施方法等を検討するため、これまでフッ化物洗口を実施してきたモデル校の学校職員及び保護者を対象にアンケート調査を行う。

2 調査対象

- (1)モデル事業実施校の学校職員（校長、教頭、学級担任、養護教諭等）
- (2)フッ化物洗口実施クラスの保護者

【参考】モデル事業実施校

H26.5月現在

	山本小	西原小	白山小	松尾北小	小島小	豊田小
実施学年	全学年	1、2年生	全学年	全学年	全学年	全学年
クラス数	6	8	23	3	9	14
児童数	73	264	612	12	168	265

3 調査時期(予定)

学校職員・・・平成26年8月下旬

保護者・・・平成26年9月

4 調査方法

- ・ 各区役所保健子ども課を介して、モデル事業実施校にアンケート調査票を送付し、関係職員及び保護者に配布、回収していただく。
- ・ 集計等は、検証プロジェクトメンバーにて行う。